



# わが家のアイドル

吉佐美にお住まいの  
佐藤 紳雄さん・潤さんの

なつ き  
二男 夏樹くん(3歳8か月)

ぼく、なっちゃん。パパそっくりって言われるよ。  
トミカやカーズ、車がだいすきなんだ。  
春からようちえんに行くよ。  
いっぱいお友だちができるといいなあ！

みなさんのお宅のアイドルの写真を募集しております。市役所総務課へどしどしお寄せください。



下田市はあいさつ運動実践中

あいさつで知らぬ顔にも笑みが湧く



下田の大地を巡る旅

「伊豆半島ジオパーク」

Vol.11

下田港ジオサイト②



「伊豆石」

市内で見られる伊豆石の建造物は、美しい縞模様が特徴的で、下田らしい風情があり、こうした建物の前で記念写真を撮る観光客も少なくありません。

実は、こうした石壁に使われている伊豆石は、伊豆を形作った「火山活動」による「贈り物」のひとつなのです。

伊豆石とは、「伊豆で産出される石材」を指す呼び名であり、種類を特定するものではありません。伊豆石は、大きく分けて2種類あるといわれています。

ペリー黒船艦隊の来航により、幕末の中心的な舞台となった『開国のまち・下田』。この街が歩んできた歴史の名残を感じるため、多くの人々が下田を訪れています。まちの歴史と情緒を映し出す、もつとも代表的なものは「景観」です。「下田」というまちの景観を、より一層魅力的に作り出しているのは、古くからの建造物であり、その代表的なものとして、「なまこ壁」とともに、「伊豆石」の建造物が挙げられます。

一つは安山岩系の硬質の石であり、火山噴火で流れ出した溶岩類です。真鶴石、小松石などとも呼ばれ、耐火性に優れ、風化しにくいという特徴が挙げられます。江戸城の石垣に利用するために、伊豆の各地域でこうした石材が切り出され、海路等を利用して運搬されました。

伊豆石のもう一つの種類は軟質のものであり、海底火山の噴出物（火山灰等）が、海底に堆積してきた凝灰岩類です。伊豆青石、沢田石、伊豆若草石などと呼ばれ、耐火性に優れ、軟らかいため加工しやすい一方で、風化しやすいという欠点もあります。濡れても滑りにくいことから、岩風呂の材料等としても用いられています。市内に点在している建造物の縞模様は、海底火山の噴火により堆積した、火山灰等が織り成す地層なのです。

江戸後期から明治、大正の「下田の面影」を映し出す、こうした伊豆石が、実は数百年前の海底火山による産物であることに、不思議なおもしろさを感じます。



美しい縞模様

問合せ先  
観光交流課観光戦略係

☎ 023913



「広報しもだ」は再生紙を使用しています

伊豆縦貫自動車道を早期完成しよう!!

「伊豆縦貫自動車道ロゴマーク」を利用して、伊豆縦貫自動車道の整備促進と活性化を県内外にPRしましょう!! ご利用方法については、以下の市ホームページをご覧ください。

■ 下田市ホームページ <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>

